

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひかり美唄西（児童発達支援）		公表日		2025 年 3 月 31 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適切だと思います。 ・その日の遊びの状況に応じ、ボール遊びをホールで2つに分けたり、工作はステージ上など怪我のないようにしている。 ・大1室、小2室あり、利用している点が良いと思う。 	部屋数と広さを活かして、静的、動的な活動に合わせてスペースを使っている。また、クールダウンができる部屋も確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置人数は基準を満たしていると思いますが、保護者様の要望に沿った支援を行うとなると足りないと感じる時もあります。 ・職員数が不足しているので、目が届かない部分がある。 ・今は職員が少ないため、大変である。 ・欠員が続いているが、半年程増員がされていない。 	適切な配置数を安定的に確保するため、現在職員の募集を行っている。また、職員の休み等で職員数が足りない時には、ひかりと連携を取り送迎にあたっている。さらには、他の事業所からヘルプを要請する体制も整えている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に解りやすいように1日の流れをホワイトボードに掲示しています。バリアフリーに関しては昔の建物なので十分とは言えませんが、必要に応じ使いやすいように改造している部分もあります。 ・所々段差がある。 ・床がベコベコでいつ落ちてもおかしくない。玄関を含め古い建物なので、バリアフリーではない。手洗い場は冬期でも冷たい水である。 ・空間は良いが、対象とする児童に設備や環境上良いか疑問。 ・施設の老朽化が進み、特に床はいつもポコポコしています。 	各部屋床の色を変えたり、ホワイトボードを用いての視覚支援など、わかりやすいように工夫している。バリアフリーについては、玄関や部屋と部屋の間に段差があるため、今後解消の必要性を検討していきたい。床などの歪みについては、都度補修を依頼するようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃を毎日する他、消毒もこまめに行うようにしています。また、室温や湿度などにも気を付け子ども達が心地よく過ごせることができるように気を付けています。 ・古いので、ホールの床は動くと下からほこりが舞い上がり、毎日掃除機に綿ぼこりが大量。 ・空間は良いが、対象とする児童に設備や環境上良いか疑問。 	送迎後に必ず清掃を行い、整理整頓をすることを心掛けている。また、感染症の対策として物品の消毒の他に換気や加湿も行うようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・物音に敏感な児童もいるので、静かな場所を提供したり、パニックになった時にクールダウンをする場として落ち着ける場所として提供しています。 ・ホールの他に部屋が2つあり、状況に合わせて使用している。 ・必要に応じて使用する部屋がある。 ・室に関しては良いと思う。 	物音に敏感なこどもには静かな場所を提供したり、パニックになった時にはクールダウンする場所を提供している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定と振り返りの会議には職員の他に常勤勤務のパート職員も参加しています。時間パートの方は会議の参加が難しいですが、会議録を回覧し必ず目を通してもらうようにしています。 ・その日あの時はこうしたら良かったのではないかなと思う事は、職員間に伝え、助言が頂ける。 	日々の話し合いの場を設けている以外にも、事業所会議を行い、子どもに対する支援の方法などを話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表回収後に保護者様からどのような意見があったのかを管理者から報告を受け、改善に努めています。 ・改善できている事もあるが、無理な事もあると思う。 ・無回答 1 	保護者等の意見を真摯に受け止め、職員間でも話し合い、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・良い方に改善できると思えば、取り組んでいると思う。 	主に事業所会議において、議題や意見を出してもらい、集約した結果を業務改善につなげている。	

業務改善	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	・第三者がどこになるかわからないが、内情を良く知ってからの評価なのかかわからない。 ・無回答 2	これまでは第三者による外部評価は行っていない。今後は必要性も含め、検討したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・職員の質の向上を図るため、施設外研修や施設内研修に参加ができるようになっています。 ・研修内容も色々で学ぶ事が多い。	外部研修の他に、事業所全体の研修や事業所間研修、分野別の研修など、多種多様な研修を受ける機会がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・今年度中に支援プログラムを作成し、公表する流れになっています。 ・個別支援も職員間で共有している。	今年度中に本社にて一括で支援プログラムを作成し、公表する予定である。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	・アセスメントを細かく行い、分析したうえで計画を作成しています。 ・作成された書類は確認するが、直接は関わっていない。	アセスメントを細かく行い、分析すると共に、本人や保護者のニーズを基に職員会議を開き、個別支援計画を作成している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	・支援計画を立てる際には児発管だけの視点にならないように評価会議・アセスメント会議・支援計画原案を基にした会議を開き、検討を重ねた上で計画を作成しています。 ・作成された書類は確認するが、直接は関わっていない。	支援計画を立てる際には児発管だけの視点にならないように評価会議・アセスメント会議・支援計画原案を基にした会議を開き、検討を重ねた上で計画を作成している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・子どもに関わる全ての職員が計画内容を把握し支援を行っています。 ・支援計画を立てる際、児発管からは話しや意見を求められる事がある。	子どもに関わる全ての職員が個別支援計画の内容を把握しており、計画に沿っているのかを確認しながら、支援を行っている。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・全てを確認する事はないが、アセスメントは確認してはいる。	全事業所共通のアセスメントシートを使用しており、日々の行動観察も併せて行っている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・ガイドラインに沿った項目で計画を作成しています。 ・作成に関わっていない。	ガイドラインに基づいた個別支援計画を作成し、1つの目標に対して、3つ以上の具体的な支援内容を設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・月に一回レクリエーションにかかわる職員が集まり活動プログラムを立案しています。 ・話し合う時間が取れず、まかせている部分はある。 ・無回答 1	レクリエーションを担当するメンバーでチームを作り、話し合いを行った上で立案をしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・体を動かす活動、静的活動をバランスよく取り入れるようにしています。 ・状況に応じてプログラムを変更している。 ・色々な物を取り入れるよう考え、苦手とする事にも取り組めるよう工夫している。 ・個々の実態に配慮したプログラムを考えるが、児発を利用する子供の状況に大きな差があり、個別の対応が必要。 ・無回答 1	子ども達に様々な経験をしてもらえるよう、以前の内容を確認して重ならないようにしたり、季節に合ったものを取り入れる等工夫している。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせる計画を作成している。 ・作成に関わっていない。 ・無回答 1	個別活動と集団活動を組み合わせながら、子ども一人一人に応じた計画を作成している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝の打ち合わせの中で、その日の活動の確認を行っています。また大きな行事の時には、全職員がそろって事業所会議で内容を確認しています。 ・打ち合わせは行っている。	朝の打ち合わせで、その日の活動の確認を行うようにしている。大きい行事を行う際には当日の確認だけではなく、全体会議の場でも確認を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・支援終了後だけではなく、空き時間にも支援の振り返りを行うようにしています。 ・気づいた事などは話し、共有している。	送迎後にその日の振り返りを行うようにしている。その他にも、空き時間を使って気が付いたことを話し合ったりしている。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・その日のうちに支援記録を記入し、支援の検証を行い、改善が必要なことは翌日から行えるようにしています。 ・行っている。	支援記録は当日記入するようにし、計画会議の際の支援の検証や改善に繋げている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	・定期的にモニタリングを行い計画の見直しをしています。 ・関わっていない。 ・無回答 1	半年に一度保護者と面談をし、評価を基に個別支援計画の見直しが必要か判断している。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者と管理者が出席しています。 ・関わっていないのでわからない。 	主に児発管が参加し、計画や支援に反映させている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が受診する際に病院へ同行させていただったり、事業所での児童の様子を書いたものを先生にお渡しし、アドバイスなどをいただいています。また、保育所等を訪問し児童の様子を見させていただくと共に、担当の先生から話を聞き日々の療育に役立てています。 ・幼稚園、保育所など連携している所もあれば、市、学童など横の連携は不十分。 	児童が受診する際に病院へ同行したり、事業所での児童の様子を書いたものを医師にお渡しし、アドバイス等をいただいている。また、保育所等を訪問し児童の様子を見ると共に、担当の先生から話を聞き日々の療育に役立てている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在児童発達支援の児童の中に、保育園と併行利用されている児童がいます。また4月には幼稚園と当事業所の併行利用をされる予定の児童もいます。その際には、当事業所での支援内容をお伝えし、同じ方向での支援が行えるようにさせていただいています。 ・保育所や幼稚園、支援学校とは情報の共有はある程度あると思うが、その他は相互理解とまではないと思う。 ・幼稚園の担当者、園長と日常の様子や対応などを細かく交流し、今後の展望も含めて相互理解に努めた。 	現在も保育所や幼稚園と併行利用しているこどもがいるため、電話や訪問等で保育所や幼稚園と情報交換し、情報共有を行なっている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前に学校側の担当者にスタートシートを基に引継ぎをしています。また、児童が学校に慣れたころに学校を訪問し、担当の先生に様子をお聞きしています。 ・児発管が参加している。 	進学先の小学校等の担当の先生と引き継ぎをする機会が設けられ、その場で情報共有を行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところアドバイスを受けるようなことは無いのですが、困った時には相談をし助言をいただきたいと思います。 ・わからないがないと思う。 ・無回答 2 	現在助言は受けていないが、必要なケースがでてきた際には、こちらから働きかけて助言を受ける機会を設けていきたい。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て広場を利用させていただくことはあるのですが、その他はありません。 ・運動会を見学させてもらう事はあるが、地域の子どもと交流はない。 ・無回答 2 	これまで幼稚園等の交流や、地域の他のこどもと活動する機会がないため、今後検討していきたい。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童を送っていった先で保護者様にその日の様子をお伝えしています。その会話の中で出来るようになったことや、これからの課題について話しています。 ・送迎時には当日行った事、気になった事は伝えている。 	個別支援計画の面談以外にも、送迎時や連絡帳を通して伝えている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所では、保護者に向けての子育て学習会を行い家族の対応力の向上を図っています。 ・保護者学習会・交流会を設けている。 ・いつでも話を聞く話せる状況を作っているし、保護者が参加できるイベントを作っている。 	7月と10月に保護者に向けた学習会を開催し、家族の対応力の向上を図っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても重要なことですので丁寧な説明させていただいています。 ・関わっていない。 ・無回答 1 	契約時に一つ一つ説明を行っている。

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや保護者の意向を記入する欄がありますので、必ず意向を確認させていただいています。 関わっていないが、話を聞く事があるので、尊重し作成していると思う。 	子どもや保護者の意向を記入する欄があり、必ず意向を確認している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 当事業所に来所していただき、計画を見ていただきながら説明を行い納得された上でサインをいただいています。また来所できない保護者様もいらっしゃるのでその際には訪問をさせていただき、説明をさせていただいています。 関わっていない。 	保護者との面談時に計画を見てもらいながら説明を行い、同意を得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 計画作成時の面談だけでなく、送迎時などを使って助言などを行っています。 定期・不定期に必ず困り事などを聞き、面談する様子は見ている。 	連絡帳での相談は、連絡帳や電話で対応している。送迎時の相談については、内容によっては一度事業所に持ち帰り、事業所内で話し合ってから対応する場合もある。他にも個別支援計画の面談時に相談を受けることもある。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様の交流する場として、保護者交流会や親子レク、兄弟を含め参加できるものとしてイージーベースボール・よさこい鑑賞会などを行っています。 保護者交流会の他に保護者も参加できる行事がある。 保護者が参加する交流の場は年に何回か設けている。きょうだい同士の交流はない。 	7月、8月、9月、10月、12月には、親子レク、イージーベースボール大会、保護者学習会（2回）、保護者交流会を開催し、保護者交流の場を設けている。また、イージーベースボール大会はきょうだいの参加も認められており、実際に参加している。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様からの相談に関しては、迅速に対応させていただいています。申入れに関してはその場で対応できない内容の時には、職員間で話し合い結果をお伝えさせていただいています。 常に応じられる体制であり、対応していると感じている。 	申し入れがあった場合は真摯に受け止め、できるだけ迅速に対応するようにしている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎月おたよりを発行し活動の内容をお伝えしています。また2ヶ月ごとに活動写真をのせた通信を発行させていただいています。またインスタグラムにも活動の様子をあげさせていただいています。 毎月アルバムやおたよりを発行し、情報を発信している。 	事業所で過ごす子ども達の姿を保護者の方に知っていただけるように、毎月のおたよりの他に、2ヶ月に1回、子ども達の活動の様子を載せたプリントを発行している。また、2024年度よりインスタグラムでも活動の様子を紹介している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報、プライバシーに配慮した対応をさせていただいています。 注意している。 	名前が入っている書類はシュレッダーするようにするなど、職員一人一人が十分注意をするようにしている。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 伝わりやすい方法を用いて対応させていただいています。 言葉の使い方、選び方は考え、相手に伝わりやすく心がけているつもり。 	口頭の説明だけではなく、写真やイラスト等を使って、子どもや保護者が解りやすい方法で伝えている。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を回っているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 先日保護者の交流会に地域の方にも声をかけ参加していただいています。 話には出ているが、計画・実行までには至っていない。 ないが来年から取り入れようとしている。 無回答 1 	地域の方にも保護者交流会のご案内をし、参加していただいている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 事業所では各マニュアルを策定していますがマニュアルを保護者様には配布はしていません。発生を想定した訓練は行っており、その様子をプリントに載せ保護者様に配布させていただいています。 訓練までは行っていないが、何かあればこうしたらなどの話し合いはある。 	事業所内でマニュアルを策定し、それを基に訓練を行っている。保護者の方には行事予定表で訓練の日程をお知らせしている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 当事業所を利用されているお子様全員が訓練を行えるよう、曜日や時間を変えながら実施しています。 実施訓練や動画などで災害についての対応、対策は行っている（レクで）。 	風水害・地震・雪害・火災を想定した訓練を定期的に実施し、実際に外へ避難したり、災害非常食の Pasta を試食したりもしている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関わる職員全員が把握しています。 薬の変更なども含め確認し、様子を見る事がある。 	契約時や毎年4月に利用者調査票を記入してもらったり、アセスメントを行うときに状況を確認している。情報については、職員間で共有するようにしている。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・対応をしています。 ・現在はないが、医師の指示書で対応していた。 	利用者調査票などにより、アレルギーに対して保護者からの情報確認がとれている。情報については、職員間で共有するようにしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な環境が保たれているか、子供を受け入れる前に確認をさせていただいています。 ・外部研修や社内研修に参加している。 ・防災、防犯など、また利用者の特性も考え、安全管理に心掛けている。 	安全な環境が保たれているか、こどもを受け入れる前に確認している。また、事故の再発防止等について会議で協議し、安全対策を講じている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には取組みを周知してもらっていると思う。 ・体調不良やそれに伴う食欲不振時の対応をその都度詳しく説明し、相互理解に努めている。 ・無回答 1 	契約時に事故発生時の連絡体制等について、保護者の方に説明を行っている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・パートさんも参加をする事業所会議で検討をし、対策を皆で考えています。 ・事業所会議にて共有し、再発防止策を考えている。 ・再発防止策で、こうすれば、こうしたら話を話し合う事ができている。 	ヒヤリハット発生の際にはカンファレンスを行い、それを基に事例集を作成して事業所内で共有している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待研修した者が、職員とパート職員に対し伝達研修を行っています。また会社全体の研修でも虐待研修を行い虐待防止に努めています。 ・外部研修や社内研修に参加し、事業所で伝達研修を行っている。 ・研修会や、個人で調べ学ぶ事もある。 	外部の虐待防止研修については、事業所内の職員が1名以上参加することとされており、会社内部全体での虐待研修もあり、機会が確保されている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・意志疎通が難しく自傷行為のあるお子さんに関しては、保護者の方に十分説明をいたうえて計画に記載させていただいています。 ・命に関わる事が前提で、事前に保護者に了解を得ての事である。 ・オムツ交換時や自傷行為が続く時は、事前に了承した方法で対応する場合がある。 ・無回答 1 	身体拘束については、利用者の安全を第一に考え、職員間で検討し個別支援計画に記載している。保護者の方に了承を得た上で、やむを得ない場合に限り行っている。	